

# 清流ニューズ

発行所  
八王子市子安町 1-22-25  
清流寺  
清流ニューズ編集室  
電話 (042) 646-0287 (代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp.org/

平成二十七年 度 総 祈 願  
本 年 度 教 化 誓 願 達 成  
佛 立 開 導 日 扇 聖 人 二 生 誕 二 百 年 慶 讃  
佛 立 開 花 運 動 第 三 年 度 御 奉 公 成 就 之 御 願  
農 尊 三 十 三 回 御 諱 報 恩 御 奉 公 成 就  
役 中 後 継 者 養 成 法 灯 相 続 促 進

## 二月の御総講日

一日 九時半 御修行日  
七日 十時 バースデー総講  
日序上人報恩祈念  
十三日 十時 高祖御命日  
十七日 九時半 開導御命日  
於 清 流 寺  
十二日 十時 高祖御速夜  
十六日 十時 開導御速夜  
廿八日 十時 歡尊御命日  
於 羽 村 別 院

## 特別行事

廿二日 午前十時三十分始  
門祖日隆大聖人御開山會  
晴天祈願  
十五日〜廿一日  
第一座 六時〜七時半  
第二座 九時半〜十時半

## 会議

一日 御総講後 役中会議  
十七日 御総講後 教区長会議

2月22日  
10時30分

## 門祖日隆大聖人御開山會式 奉修御導師 大和・法深寺御高職清水日清御化主

本年度の門祖日隆大聖人御開山會(門祖會)は来る二月廿二日(日)に奉修されます。今回、ご奉修を頂く御導師は大和(神奈川県)法深寺のご高職、清水日清御化主です。



日隆聖人御靈像

門祖日隆聖人  
御教に  
此君のいまこぼりせば遠つちやの清きながれを誰かくまひし

清水御導師は、第四宗務支庁長として、神奈川県、静岡県、愛知県にまたがる管区内廿六ヶ寺と六ヶ別院の先頭に立つてご奉公ご活躍中です。さて、門祖日隆聖人は、南北朝時代の至徳二年にご誕生遊ばされ、長じて、伯父である、日存、日道両聖人を使い、本能寺へ入寺されました。当時の宗教界の墮落ぶりを改革するために立ちあがり、殊に本門法華宗は、日蓮聖人の教えが濁り、正しいご本意どおりのご信心ができていませんでしたから、なんととしても、御祖師様の正しい教えにもどそうとご尽力下さったのです。

にっしょうおんけしゅ

そうして門祖聖人は、生涯に三千余帖という膨大な著述も遺され、日蓮聖人の教えが正しく継承されることを願っておられたのです。

開導日扇聖人は、この門祖日隆聖人のおかげで正しい成仏のできる教えを頂くことができた!とお喜びになられ上掲のご教歌をお詠みになられました。また、写真のご霊像は、本山ご宝前左側のお厨子に安置されております。

## 毎月七日御総講後

## 全教区合同教化道場を実施

本年は、七日の御総講後の十二時半より、約一時間、全教区合同の教化必成口唱会を「全教区合同教化道場」として実施いたします。

開導聖人ご生誕慶讃二百年報恩ご奉公円成をご祈願して一人でも多く参加、熱帯をさげましょう。

## 二月十一日(祝) 布教区終日口唱会

東京中央布教区の行事である前期終日口唱会が、蒲田・久遠寺にて開催されます。当山では朝十時の開始より、十二時過ぎ迄のお参詣を予定しています。

お参詣希望の方は、お参詣案内申込書に記入し、二月七日迄に提出お願いします。弘通部・渉外部

## 平成二十七年 度 受持教区発表

- 立川 加藤日流師
- 八南・八北・青梅 本庄乗学師
- 日野・大和・小金井 安藤序典師
- 八西・国立・羽村 浅沼序説師
- 国分寺・小平・東村山 本庄序開師
- 京王・昭島 長谷川清泊師
- 元八・八東 平松信応師

## 歳末助け合い お礼と報告

ありがとうございます。平成二十六年歳末たすけあい募金・使用済み切手、磁気カード収集等をご協力いただきましてありがとうございます。

歳末助け合い募金は十二月一日から二十五日迄の期間で各教区内と本堂前募金箱で皆さまから募金をいただきました。本堂前募金箱  
金・二万七千七百一十一円  
各教区  
金・八万四千四百円  
(壮年会より二千四百円)  
合計十一万八千八百一十一円のご協力をいただきました。

また、毎年の盲人介護施設、青梅・聖明苑へ昨年十二月二十一日に寄付金五万円と使用済磁気カード・切手をお届けいたしました。

磁気カード 五百四十枚  
切手 一万二千六百十八枚  
次に、寺内信徒でご希望のあった高齢で一人暮らしをされている生保受給者の方へ、それぞれ金一封の支援金を九名の方へ各部長を通して、お渡ししました。今年度も、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

社会福祉部

## 本月の御妙判 確固たる信念



賢人は八風と申して八つの風にかされぬを賢人と申すなり。利衰毀誉称譏苦楽なり。おほむねは利あるによるこぼず。衰ふるになげかず等の事なり。此八風にかされぬ人を必ず天まもらせ給ふなり  
(四条金吾殿御返事)  
風で軽い物は風の吹く度に動かされて少しも安定せぬが、

どつしりと重い物は如何なる強い風が吹いてもビクともせず安定しています。確固たる信念をもった人は決して其の周囲の為に動かされず、終始一貫よくその道を守ってゆけるものです。所謂八風については仏地経論の中に  
「此の八法ハ世間ノ愛スル所、憎ム所ニシテ、能ク人

心ヲ煽動スルガ故ニ之ヲ名ケテ風ト為ス。苟クモ心ニ主アリテ正法ニ安住シ、愛憎ノ為ニ惑乱セラレザレバ、即チ八風モ動カスコト能ハザルナリ」  
と、いつています。

その八風とはこの御妙判にあるとおり、利衰毀誉称譏苦楽の八つですが先づ、利とは得意の境遇にあること衰とは失意の境遇に在ること。毀とはかげで非難すること。誉とは陰で称揚すること。譏とは其の人の前で非難すること

苦楽というものは何事にもあるものであります。凡夫というものは利誉称楽を愛してやまず。衰毀譏苦を嫌って之を避けんがために常に心を勞するものです。かくして互に相争い、争いに勝つために手段をえらばずという事になるから、世の中の人間社会は益々苦勞が多くなるのです。心主アリ」というのは確固たる信念をもっているという事です。その信念の故に心が動かされるということはありません。

開導聖人は  
信心は運のつよくなる本なれば信心を第一として今日をいとなみ給へば、信行の徳によりて、火盗病不慮損失の難をもまぬがれ、後生はたしかに申すに及ばず、今生も人とうまれしかひありて、御弘通の御奉公も成就するもの也と思召すべし  
(仏立要義録)  
と、御指南下されてあります。信心第一の人が確固たる信念の人であることを知らねばなりません。

日序上人御十七回忌報恩ご奉公御有志奉納者氏名その六十二(教区順。敬称略。順不同)  
二十七年一月二十日現在  
合計八一八名、一、五九二口